

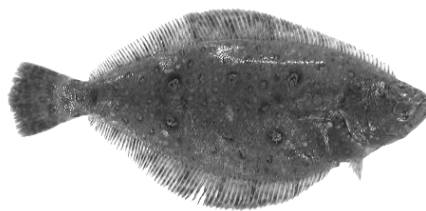
ムシガレイ

日本海海域

Eopsetta grigorjewi

地方名

さいべ、さんとかれい（八戸）、みずがれい、みずくさ、みずくさがれい（陸奥湾、日本海）



生態

- ①寿命：約7歳。
- ②成熟：オス2歳（全長18cm）以上。
メス3歳（全長21cm）以上。
- ③産卵期・産卵場：4月～6月。
水深100m以浅の砂泥域。
- ④分布：サハリン、千島から瀬戸内海、山陰地方。
- ⑤生態：通常は水深200～250m以浅の砂泥域に生息。
食性はエビ、カニ、イカ類、魚類など。

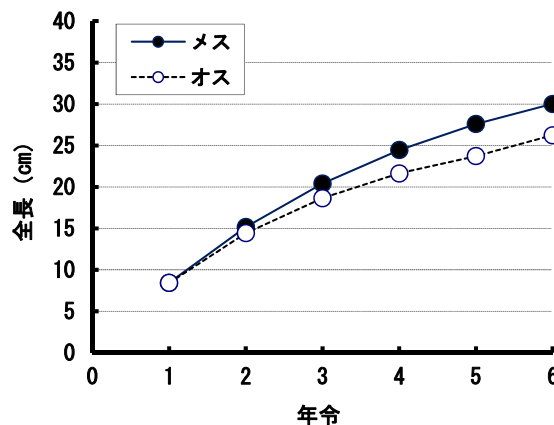


図 青森県におけるムシガレイの成長

主な漁業

底建網、さし網、底びき網で漁獲。主漁期は4月～5月。2～3歳から漁獲される。

漁獲と資源の動向

昭和40年代には日本海全体で100トンを超える漁獲量があった。平成5年以降、漁獲量は増加傾向にあり、平成24年は最も多い93トン記録した。

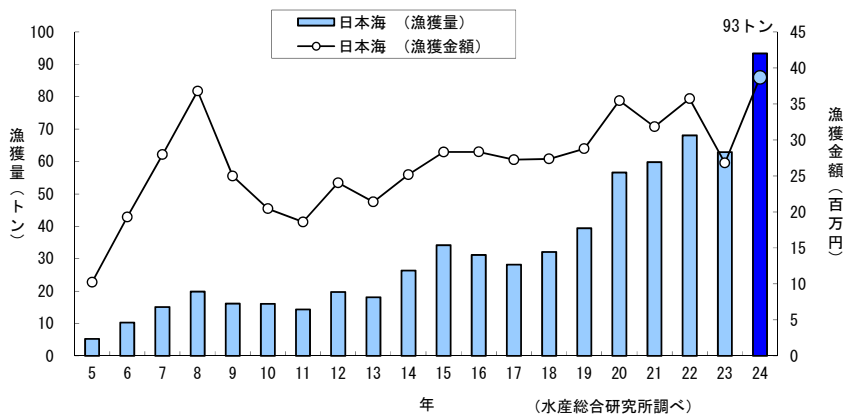


図 青森県日本海海域におけるムシガレイの漁獲量及び漁獲金額の推移



資源を上手に利用するために

- 資源管理計画（日本海海域平成11年3月）
- ・全長20cm未満個体の再放流、かれいさし網の目合規制（3.5寸以上）の徹底が定められた。
- ☆上記の取り組みを継続することが必要である。

トピックス

青森県日本海海域で実施した標識放流調査では、本県日本海から秋田県沖を回遊することが報告されている。